

就労継続支援 A 型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	ここのわ小田急相模原
住 所	神奈川県相模原市南区南台5-15-12
電話番号	042-705-7072

事業所番号	1412605824
管理者名	前田隆之
対象年度	令和6年度

(Ⅰ) 労働時間		
①1日の平均労働時間が7時間以上		65
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満	○	
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		

①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点

(Ⅱ) 生産活動		
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	60
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		

①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点

(Ⅲ) 多様な働き方（※）		
①免許・資格取得、検定の受検動奨に関する制度		15
就業規則等で定めている	○	
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている	○	
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている		
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑤短時間勤務に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている	○	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている	○	
小計（注1）	5	点

（※）8項目の合計点に応じた点数 （注1）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点

(Ⅳ) 支援力向上（※）		
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		15
参加した職員が1人以上参加している	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回以上の場合	○	
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合	○	
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○	
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計（注2）	5	点

（※）8項目の合計点に応じた点数 （注2）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点

(Ⅴ) 地域連携活動		
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10点

1事例以上ある場合：10点

(Ⅵ) 経営改善計画		
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	0点

期限内に提出していない場合：-50点

(Ⅶ) 利用者の知識・能力向上		
前年度において、就労継続支援 A 型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	10点

1事例以上ある場合：10点

項目	点数						
労働時間	5点	20点	30点	40点	55点	65点	80点 90点
生産活動	-20点	-10点	20点	40点	50点	60点	
多様な働き方	0点	5点	15点				
支援力向上	0点	5点	15点				
地域連携活動	0点	10点					
経営改善計画	0点	-50点					
利用者の知識・能力向上	0点	10点					

合計
175点 / 200点

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ）

（Ⅰ）労働時間

前年度（令和6年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	25637:30	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	4,624	人	利用者の1日の平均労働時間数	5:32	時間
-----------------------------	----------	----	-------------------	-------	---	----------------	------	----

（Ⅱ）生産活動

会計期間（4月～3月）

前々々年度（令和4年度）

生産活動収入から経費を除いた額	23,837,203	円	利用者に支払った賃金総額	23,174,665	円	収支	662,538	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	---------	---

前々年度（令和5年度）

生産活動収入から経費を除いた額	27,514,824	円	利用者に支払った賃金総額	27,429,469	円	収支	85,355	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	--------	---

前年度（令和6年度）

生産活動収入から経費を除いた額	30,775,646	円	利用者に支払った賃金総額	30,745,054	円	収支	30,592	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	--------	---

（Ⅲ）多様な働き方

前年度（令和6年度）における取組（全体表「（Ⅲ）多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度

◎免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を定めている	☒
------------------------------	-------------------------------------

②利用者を職員として登用する制度

◎利用者を職員として登用する制度を定めている	☒
------------------------	-------------------------------------

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている	☐
-------------------------------	--------------------------

④フレックスタイム制に係る労働条件

◎フレックスタイム制に係る労働条件を定めている	☐
-------------------------	--------------------------

⑤短時間勤務に係る労働条件

◎短時間勤務に係る労働条件を定めている	☐
---------------------	--------------------------

⑥時差出勤制度に係る労働条件

◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている	☒
----------------------	-------------------------------------

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている	☒
-------------------------------	-------------------------------------

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている	☒
-----------------------	-------------------------------------

（Ⅳ）支援力向上

前年度（令和6年度）における取組（全体表「（Ⅳ）支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎研修計画を策定している	☒
◎外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。	☒
※研修名	『虐待防止研修』
研修講師	相模原市社会福祉協議団生活相談課 玉手邦明様
実施日・受講者数	6月 26日 9人

②研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している	☒
※研修、学会等名	全Aネット 就労支援セミナーin神奈川
実施日	2月 8日
※学会誌等名	
掲載日	月 日
発表テーマ	『今一度、A型の存在意義を考える』

③視察・実習の実施又は受け入れ

◎先進的事業者の視察・実習の実施しているもしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている	☒
※先進的事業者名	進和ルネッサンス
実施日/参加者数	6月 26日 9人
※他の事業所名	
実施日/参加者数	月 日 人

④販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している。	☒
※商談会等名	バックオフィスexpo
主催者名	オフィスexpo東京ビックサイト
日時	1月 29日
内容	販路拡大に向けての最新ソフトの情報収集等

⑤職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している	☒
◎当該人事評価制度を周知している	☒
人事評価制度の制定日	6年 4月 1日
人事評価制度の対象職員数	6名
うち昇給・昇格を行った者	5名
当該人事評価制度の周知方法	・職員会議での資料や口頭での説明

⑥ピアサポーターの配置

◎ピアサポーターを配置している	☐
◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している	☐
※配置期間	月 日～ 月 日
就業時間	
職務内容	

⑦第三者評価

◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている	☐
※評価を受けた日	月 日
第三者評価機関	

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎ISOが制定したマネジメント規格等の認証を受けている	☐
※認証を受けた日	月 日
規格等の内容	

（Ⅵ）経営改善計画

◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。	☐
※受理日	年 月 日

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	ここのわ小田急相模原	事業所番号	1412605824
住 所	神奈川県相模原市南区南台5-15-12	管理者名	
電話番号	042-705-7072	対象年度	令和6年度

地域連携活動の概要

<活動内容> 活動場所：神奈川県相模原市南区麻溝台3-4-11 実施日程：令和6年4月～令和7年3月 8:00～15:00 実施した生産活動 ①カゴの整理…トラックから降ろされた台車で運ばれてきた空カゴを取り、所定の場所に戻します。 ②農産…三和職員と共に所定のパックやビニール袋等へ野菜を詰め、出荷の準備を一緒に行っています。 ③洗浄…配送で使って戻ってきたカゴを洗浄機を使って洗い、再びきれいな状態で使える準備をしています。 利用者数 18名	<活動の様子>  カゴの整理  ミニトマトのパック詰め  カゴの洗浄
<目的> 三和物流センターの正社員を育成することが目的です。 三和物流センターの社員様と同じ空間で作業をさせてもらうことで動きの質やコミュニケーションの重要性を肌で感じてもらい、常に高い目標を持って作業に励んでもらっています。	
<成果> 三和物流センターの社員様と同じ空間で作業をさせてもらうことで、動きの質やコミュニケーションの重要性を肌で感じてもらうことができました。それぞれの作業で目的と目標をもって取り組んでいる利用者様でいっぱいです。 <課題点> 外での作業が多かった為、気候の変化に対応できない時もありました。年間を通じての体調管理の難しさを感じました。	

連携先の企業等の意見または評価

連携した結果に対する意見または評価

クレーン作業において天候が悪化する中でも懸命に取り組んで頂き、心より感謝申し上げます。

洗浄作業においても支援員と利用者が一体となって作業目標を設定し、協力して取り組んでいる姿勢は三和メンバーにとっても大いに見習うべきものと感じております。支援員の皆様は利用者一人ひとりに対して深い愛情を持って接しており、利用者の皆様もそれに応え、明るく前向きな職場環境を作り上げて頂いております。改めて、心より感謝申し上げます。

今後の連携強化に向けた課題

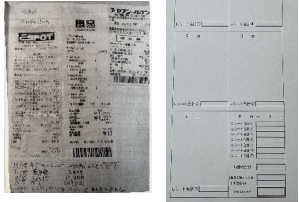
早朝や遅い時間帯での対応が可能となりますと大変助かります。

連携先企業名	株式会社三和物流センター	担当者名	斎藤様
--------	--------------	------	-----

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	ここのわ小田急相模原	事業所番号	1412605824
住 所	神奈川県相模原市南区南台5-15-12	管理者名	前田隆之
電話番号	042-705-7072	対象年度	令和6年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<活動内容> 活動場所:ここのわ小田急相模原事業所内等 実施日程:11月1日～3月31日 実施した利用者の知識・能力向上に係る実施の概要 支払方法の種類と仕組みについて、スマホやネットトラブルについて自分の収入と支出について、お金の管理の仕方について	<活動の様子>  プロジェクターを使い基本的な内容をみんなで勉強しました。
利用者数等3人 <目的> ・自分が月にいくら使って生活をしているのかを振り返る為に客観的に見る機会を作る ・目的の為に計画を立ててお金を使う事の大切さ、基本的な感覚を養う	 それぞれ1ヶ月の収入と支出を記入してもらい金額を計算してもらいました。
<成果> 実施した結果 お金の管理や使い方について関わってほしくない気持ちが強かったが他の方と一緒に勉強することで意識が変わってきました。 得られた成果 一か月の買い物記録にレシートを貼り付け金額の計算をすることで、残っている金額を自分で把握し、使える金額を計算しながら買い物ができるようになってきました。	 1ヶ月分のレシートを貼り自分の買った物を振り返ってもらう

連携先の企業や事業所等の意見または評価

・事業所側から選抜をして今回のお金の勉強をしてもらいましたが、本人が望んで管理できるようになりたいと思わなければ身についていけないのかなと感じました。今回だけで終わらずに継続して勉強をすることで、自ら管理できるようになる人がどんどん育っていけばよいと思います。	連携先企業（担当者） ここのわ小田急相模原事業所 生活支援員リーダー 中村聖哉
---	---

利用者からの意見・評価

参加した利用者からの意見・評価 ・一か月間レシートを貼って買い物したものを報告したが、使い過ぎないように気をつけました。 ・お金の管理をしっかり行い、貯金ができるようになりたい。 ・レシートで記録をすることで買い過ぎないようにきをつけれるようになりました。
